



2008.10.31

平成20年9月期国際キワニス日本地区事業報告書 (2007.10.1～2008.9.30)

本年度の日本地区各キワニスクラブは、この1年間キワニスドールをはじめとする様々なキワニスの奉仕活動を推進するとともに、各クラブへのガバナー公式訪問等を通じ、各クラブの独自性の尊重と情報交換に努めてきました。引き続き、従来の方針を受け継ぐことにより、幼児最優先のキワニス奉仕活動は、必ず全国に受け入れられ、知名度の高揚と会員増強に結びつくものと考えられます。具体的な活動内容は次の通りです。

1. クラブの新設と会員増強

クラブ新設については、日本地区として、年間2クラブ設立を目標とまいりましたが、本年度も、神戸クラブをスポンサークラブとして昨年11月9日芦屋クラブの設立総会が開かれ、本年3月23日盛大にチャーターナイトが開催されました。引き続き本年4月24日には、仙台クラブをスポンサーとして、福島クラブの設立総会が開かれ、6月10日にこれまた盛大にチャーターナイトが開催されました。さらに8月5日、熊本クラブをスポンサークラブとして大分クラブの設立総会が開かれ、9月22日にはチャーターナイトがこれまた盛大におこなわれました。結果、今年度のクラブ新設は3クラブとなりました。

会員増強につきまして、昨年度末の1534人にたいして、今年度末は1608人となりました。4.8%弱の増加です。クラブ別に見ますと(別表参照)、今年度事業計画で記されました「20人以下のクラブは最低20人の会員を確保する、50人未満のクラブは5人以上の会員純増を図る、50人以上のクラブは5%以上の会員純増を図る」という目標に対しては、高松、福岡、熊本、金沢が達成したのみです。会員の増加はクラブ新設に伴うものが大部分(74人中63人)となっています。

2. 国際キワニスへの積極的参画

1) 国際会議への積極的参加

国際会議への参加状況は以下の通りでした。

①ASPAC ジャカルタ大会

7クラブ、40人(参加目標 7クラブ以上、80人)

③国際キワニス年次総会オーランド大会

4クラブ、13人(参加目標 7クラブ、30人)

③日本地区年次総会高松大会

26クラブ、402人(参加目標 全クラブ、400人、来賓も含む)

2) 元ガバナー小田忠雄氏の次期国際理事当選

ASPAC ジャカルタ大会において ASPAC 選出の国際理事として元ガバナーの小田忠雄氏(仙台クラブ)が当選され、来る10月から3年間の任期でこれを務められることとなりました。

3) 国際キワニス要人の来訪

①本年3月国際キワニス会長 Dave Curry 夫妻が公式訪問され、3月22日神戸、西宮地区、23日京都地区、同夜芦屋クラブチャーターナイト、24日熊本地区、24日東京地区、同夜歓迎晩餐会の日程でわが国におけるキワニス活動の現状を視察されるとともに関係者と懇談の場をもたれました。

②昨年10月国際キワニス専務理事 Rob Parker および アジア・ヨーロッパ地区担当 Christina Hale が”リスニング ツアー”として訪日し、関係者とわが国の実情等につき懇談しました。

3.奉仕活動プロジェクトの推進

今年度のキワニスクラブの奉仕活動も、事業計画に基づき、キワニスドールの普及活動に熱心に取り組むことを中心に進められたと言えます。これは単に幼い子供に対する奉仕活動を進める目的だけではなく、キワニスドールを通じて、キワニスを世間に知っていただき、そのことによって仲間が増える循環を作る目的にも適っているといえます。もちろん他の数々の奉仕活動も精力的に進められました。

①キワニスドールの普及活動

キワニスドールを全都道府県の医療機関に寄贈し、病気の子どもたちのために少しでも、役立つことを目標としてきました。本年度は

・今年4月東京で開催された「日本小児科学会」に、東京クラブによる展示

・9月25-27日に札幌で開催された「日本小児保健学会」に、札幌クラブによる展示

と年2回のキワニスドールのブースを出展しました。これにより、全国の小児科学会にはキワニスドールの広報が十二分に行き届いたものと手応えが感じられようになりました。

今年度のドール寄贈数は、7,476個で、今年度末現在寄贈数累計は26,515個、延べ715箇所の医療機関等に寄贈することができました。また、全国47都道府県全てに、寄贈しております。

また、6月のオーランド大会では、ミキ・キューナット元国際会長夫人のお誘いで、全米各地のクラブやノルウェーなどのクラブと一緒に日本地区のキワニスドールの活動について、展示ブースで紹介し、多くの大会参加者がキワニスドールに興味を示していました。

②日本地区幼児優先奉仕活動としての「児童虐待防止活動」の推進

昨年11月24日(土)に行われた児童虐待防止推進月間行事の「子供虐待防止オレンジリボンたすきリレー」に東京クラブ、横浜クラブが協賛し、ランナー、協力ボランティアとして参加しました。

③キワニス・ワンデイの実施

昨年4月から国際キワニスの提案で始まった「キワニス・ワンデイ」は本年度も4月5日(土)に行われ22クラブがそれぞれ、独自の奉仕活動を実施しました。

5. クラブ、会員相互の啓発

キワニスの奉仕活動や諸活動を積極的に実施するためには、各クラブが情報交換を通じて各会員の意識の向上を図っていくことが必要であります。昨年の横浜大会の前日に初回懇談会を開催いたしましたが、本年度においても地区役員会の度にこのための時間帯を設けてこれを行うとともに、高松大会においては「キワニスの明日を語る会」として大会前日に多くの参加者を

得て、各クラブの現状報告と問題点の指摘を行い、有意義な議論が行われました。このような会合を通じ会員のキワニス活動に対する理解を深め、活動の一層の広がりが期待できると考えられます。今後とも、この種の機会を適宜設けて各クラブの諸活動の充実と会員の資質のを期待していきたいと考えます。

6. 広報活動の活性化

- ・各クラブの努力で、今年も各地のキワニス奉仕活動がマスコミや専門誌に取り上げられました。
- ・広報活動のツールとして、一昨年作成された、キワニスドールについての、17分の「広報ビデオ」がその後も有効に使用されています。
- ・「キワニスジャパン」については、極力、記録本位に留める目的で作成しました。今後共、会員皆さんの意見を広く反映しながら、有料に相応しい改善をしていく必要があります。

7. 表彰関係

(1) 日本キワニス文化賞

今年度の日本キワニス文化賞は去る9月に高松市で開催された日本地区年次総会で香川県の保多織の岩部卓雄氏が受賞されました。

(2) 国際キワニスからの表彰

- ・ロバート P. コネリー賞 : 岩崎博文氏
- ・2006-07 Distinguished District : 菅野明前ガバナー、栗山 勁前事務総長
- ・2006-07 Distinguished Lt. Governor : 荒井前副ガバナー、宮田前副ガバナー、堀本前副ガバナー、園尾前副ガバナー、三好前副ガバナー、吉田前副ガバナー、中根前副ガバナー、山口前副ガバナー
- ・2006-07 Distinguished Club : 東京クラブ、名古屋クラブ、仙台クラブ、横浜クラブ、高松クラブ、京都クラブ、千葉クラブ、泉州クラブ、埼玉クラブ、西宮クラブ、福山クラブ、熊本クラブ、静岡クラブ、松江クラブ、鹿児島クラブ
- ・アニュアル・クラブ・ギフト・キャンペーン : 菅野明前ガバナー、中田一男元ガバナー
- ・Benefactor : 小田忠雄（仙台）、黒沢繁（仙台）
- ・ヒクソンフェロー : 飯田吉平(名古屋)、藤澤一就（東京）
山木紘（京都）、梅田嘉明（横浜）
大堀太千男（東京）、黒沢繁（仙台）
北里光司郎（東京）、横山太藏（東京）
千葉昭（高松）、山口知子（東京）

(3) 日本地区の表彰

昨年10月の役員会で承認されました「表彰基準」に基づき、次の表彰が決定しました。

《クラブ表彰》

- ・会員増強：最優秀賞：福岡クラブ 優秀賞：高松クラブ、熊本クラブ、金沢クラブ
- ・キワニスドール寄贈数：最優秀賞：東京クラブ 優秀賞：名古屋クラブ、仙台クラブ、札幌クラブ、横浜クラブ、高松クラブ、京都クラブ、和歌山クラブ、新潟クラブ、埼玉

- クラブ、西宮クラブ、福山クラブ、熊本クラブ、金沢クラブ、鹿児島クラブ
- ・寄付活動：最優秀賞：西宮クラブ
 - ・出席率：（60%以上）：神戸クラブ、西宮クラブ、渋谷クラブ、松江クラブ、
鹿児島クラブ、芦屋クラブ、福島クラブ
（改善5%以上）：大阪クラブ、仙台クラブ、横浜クラブ、新潟クラブ、
福山クラブ、鹿児島クラブ
 - ・ASPACと国際年次総会出席：東京クラブ、仙台クラブ
 - ・日本地区年次総会（高松大会）出席：
東京クラブ、名古屋クラブ、大阪クラブ、神戸クラブ、仙台クラブ、札幌クラブ、
横浜クラブ、高松クラブ、福岡クラブ、京都クラブ、千葉クラブ、和歌山クラブ、
新潟クラブ、泉州クラブ、埼玉クラブ、西宮クラブ、福山クラブ、熊本クラブ、
静岡クラブ、金沢クラブ、松江クラブ、鹿児島クラブ、福島クラブ
 - ・ガバナー特別表彰：東京クラブ（学生とキワニスドールをつくる会）、
広島クラブ（日本語作文コンテストによる留学生奨学金）

《個人表彰》（新入会員を2名以上紹介）：13クラブ 27名

《特別感謝状》

金沢クラブ杉本勇寿会員の故令夫人のご遺志に基きなされた多額のご寄贈に対し、ガバナーより特別感謝状の贈呈がなされました。

8. 寄付活動

過去累計ベースで見ますと、国際キワニス（KIFを含む）には、これまで日本地区として、
アニュアル・クラブギフトキャンペーンに377千ドル、IDD募金1,172千ドル、災害
義捐金286千ドル、その他支援に63千ドルと、合計1,898千ドルの寄付活動に協力
してきました。また、国内の災害には、13,602千円、その他活動に13,834千円の
寄付活動を行ってきました。

今年度も、各クラブの協力を得て、アニュアル・クラブギフトキャンペーンに22千ドル、
ミャンマー・サイクロン、中国四川省地震災害義捐金（1,461千円、外部免税団体への寄付
を含む）、岩手・宮城内陸地震災害義捐金（1,240千円）を、各々募金のうえ、寄付してき
ております。スリランカのコロombo・キワニス・クラブ Vision of Hope に3千ドル（324千
円）を寄付しました。

以上